

HP Universal CMDB

Windows および Solaris オペレーティング・システム用

ソフトウェア・バージョン : 8.04

用語集

ドキュメント・リリース日 : 2010 年 3 月 (英語版)

ソフトウェア・リリース日 : 2010 年 3 月 (英語版)



利用条件

保証

HP の製品およびサービスの保証は、かかる製品およびサービスに付属する明示的な保証の声明において定められている保証に限ります。本ドキュメントの内容は、追加の保証を構成するものではありません。HP は、本ドキュメントに技術的な間違いまたは編集上の間違い、あるいは欠落があった場合でも責任を負わないものとします。

本ドキュメントに含まれる情報は、事前の予告なく変更されることがあります。

制限事項

本コンピュータ・ソフトウェアは、機密性があります。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、HP の標準商用ライセンス条件に基づいて米国政府にライセンスされています。

著作権

© Copyright 2005 - 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

Adobe® および Acrobat® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Pentium®, および Intel® Xeon™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT® および Windows® XP は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、カリフォルニア州レッドウッド市の Oracle Corporation の米国登録商標です。

Unix® は、The Open Group の登録商標です。

文書の更新

本書のタイトル・ページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョンを示すソフトウェア・バージョン番号
- ドキュメントが更新されるたびに更新されるドキュメント発行日
- 本バージョンのソフトウェアをリリースした日付を示す、ソフトウェア・リリース日付

最新のアップデートまたはドキュメントの最新版を使用するには、次の URL にアクセスしてください：

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトでは、HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID の登録は、次の URL にアクセスしてください：

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログイン・ページの [New users - please register] リンクをクリックしてください。

適切な製品サポート・サービスに登録すると、更新情報や最新情報も入手できます。詳細については HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP ソフトウェアのサポート Web サイトは、次の場所にあります。

<http://support.openview.hp.com>

この Web サイトでは、連絡先情報と、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートについての詳細が掲載されています。

HP ソフトウェア・オンライン・サポートでは、お客様にセルフ・ソルブ機能を提供しています。ビジネス管理に必要な、インタラクティブなテクニカル・サポート・ツールに迅速かつ効率的にアクセスできます。有償サポートをご利用のお客様は、サポート・サイトの以下の機能をご利用いただけます。

- 関心のある内容の技術情報の検索
- サポート・ケースおよび機能強化要求の提出および追跡
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの連絡先の表示
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- ほかのソフトウェア顧客との議論に参加
- ソフトウェアのトレーニングに関する調査と登録

ほとんどのサポート・エリアでは、HP Passport ユーザとして登録し、ログインする必要があります。また、多くの場合、サポート契約も必要です。

HP Passport ID の登録は、次の場所で行います。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセス・レベルの詳細に関しては次を参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

用語集

本書では、マニュアルで使用される用語について説明します。

adapter (アダプタ)

データ・ストア内のデータ (Universal CMDB には保存されないデータ) の取得と更新を行うフェデレート CMDB 内のエンティティ。アダプタはデータ・ストア内の特定のデータのモデリング方法を検出し、データ・ストアと通信するためのベンダ固有のプロトコルを識別します。

CI

configuration item (構成アイテム) (CI) を参照。

CIT

configuration item type (構成アイテム・タイプ) (CIT) を参照。

configuration item (構成アイテム) (CI)

システムの物理または論理エンティティを表す CMDB のコンポーネント。たとえば、構成アイテム (CI) はハードウェア、ソフトウェア、サービス、ビジネス・プロセスなどを表します。CI は、ユーザの組織の IT 環境における依存関係に基づいて、階層形式に編成されます。

configuration item type (構成アイテム・タイプ) (CIT)

各構成アイテム (CI) のカテゴリ。各構成アイテム・タイプ (CIT) は、CI およびその関連プロパティを作成するためのテンプレートとなります。

Configuration Item Type Manager (構成アイテム・タイプ・マネージャ) (CI Type Manager)

システムに定義されたすべての構成アイテム・タイプ (CIT) と、それらの間の接続を定義する依存関係の定義。

configuration management database (構成管理データベース, CMDB)

HP Universal CMDB の主要な情報リポジトリ。CMDB は、ディスカバリおよび依存関係マップ, またはフェデレーションによって収集および更新されたインフラストラクチャ・データの保存と操作を行います。検出された CI と関係に関する情報は, ITIL 手法に従って CIT 定義の形式で入力, グループ化, 更新が行われます。

data store (データ・ストア)

CMDB, リレーショナル・データベースなど, 任意のデータ・ストレージ・システム。外部 CI と関係が含まれます。

Discovery and Dependency Mapping job (ディスカバリおよび依存関係マップ・ジョブ) (DDM job)

ジョブには, パターン・パラメータ, スケジュール情報, および TQL 割り当てが含まれます。ジョブとパターンの分離により, パターンの再利用とアップグレードが可能になります。すべてのカスタマイズがジョブに含まれ, これは 1 つのパターンをさまざまなスケジュールとパラメータに使用できることを意味します (バージョン 7.0 より前では, ジョブにはパターンとパターン設定の両方が含まれます)。

Discovery and Dependency Mapping module (ディスカバリおよび依存関係マップ・モジュール) (DDM module)

特定の技術またはアプリケーションのディスカバリを実現する 1 つ以上のディスカバリおよび依存関係マップ・ジョブ。詳細については, Run Discovery (ディスカバリ実行) を参照してください。

Discovery and Dependency Mapping probe (ディスカバリおよび依存関係マップ・プローブ) (DDM Probe)

中心となるディスカバリ・コンポーネントで、タスクを HP Universal CMDB サーバから要求して IT コンポーネントに配送し、その結果をサーバを通じて CMDB に送り返します。プローブは、Probe Gateway と Probe Manager という 2 つのコンポーネントで構成されます。Gateway はタスクのダウンロードとタスク結果の回答などのプロセスのために、Manager とサーバ間の通信 (http または https) を提供します。Manager はプロセスそのものを実行します。Gateway は RMI を使用して Manager と通信します。1 つの Gateway は複数の Manager と接続できます。通常、Manager と Gateway は 1 つのプロセスとして実行します。

domain (ドメイン) (ディスカバリおよび依存関係マップ)

各 IP アドレスが固有である顧客のサイトの論理的用語。つまり、各ドメインには一意の IP アドレスが含まれなければなりません。ドメインには 2 種類あります。1 つは顧客ドメインで、プライベート IP アドレスを含む特定の顧客のサイト用であり、もう 1 つはインターネット (パブリック)・ドメインで、顧客のサイトに含まれないすべての IP アドレスが含まれます (バージョン 6.x システムからのアップグレード時に使用)。

external class (外部クラス)

HP Universal CMDB クラス・モデルで定義されたクラス。このインスタンスは、HP Universal CMDB ではなく外部データ・ストアに格納されます。

federated CMDB (フェデレート CMDB)

外部データ・ストアからのデータを取り込む UCMDB の実装。これを行うことで、外部データ・ソースがデータを制御できるようになります。データは CMDB 内ではなく、外部データ・ソースに格納されます。データが要求されるたびに、UCMDB は外部データ・ソースから CMDB へデータを渡します。

federated TQL (FTQL) (フェデレート TQL)

定義に外部 CIT を含む TQL。

Federation Framework (フェデレーション・フレームワーク)

フェデレート CMDB では、フレームワークは、HP Universal CMDB とアダプタ間のメディアータ、およびフェデレート・アダプタのコンテナの役割を担います。

folding rule (折りたたみルール)

折りたたみルールは、選択した CI を異なるレベル (レイヤ) で表示することによって、トポロジ・マップ内の CI の組織構造を定義するために、関係に追加されます。折りたたみルールには、親、子、右の兄弟、左の兄弟の 4 種類があります。折りたたみルールを定義しなかった場合、トポロジ・マップでは、クエリ結果に含まれるすべての CI が 1 つのレベルで表示されます。たとえば、クエリ結果に CI とその子が含まれる場合、トポロジ・マップではどちらの CI も同じレイヤで表示されます。

Framework (フレームワーク)

ディスカバリおよび依存関係マップにおいて、Jython スクリプトを実行するのに必要な情報 (トリガ CI およびパターン・パラメータに関する情報など) を取得するのに使用できる API。たとえば、`Framework.getTriggerCIData(String attributeName)` はパターンで定義されたトリガ CI データと Jython スクリプト間のインタフェースを提供します。フレームワークは、スクリプト実行中に発生するエラー・レポートにも使用されます。

HP Business Availability Center

ビジネスの観点からのパフォーマンスと可用性のリアルタイム監視、サービス・レベル管理、エンド・ユーザ管理、システム可用性管理、カスタム・レポート生成のための HP のソリューション。

HP Universal CMDB

管理対象環境内のすべてのトポロジ・オブジェクトの管理と表示が可能なアプリケーション。管理対象環境におけるサービス・レベルから個々のオブジェクト・レベルまでの任意のトポロジ・レベルで問題を正確に特定し、報告します。

inheritance relationship (継承関係)

親 CIT の属性と振る舞い (label 関数など) を継承する CIT。

IT universe model (IT ユニバース・モデル)

CMDB の一部。CI と CI 間の関係を格納します。IT ユニバース・モデルは、ユーザの組織の IT 環境を表す階層形式に編成されます。

job execution policy (ジョブ実行ポリシー) (ディスカバリおよび依存関係マップ)

ディスカバリ内のジョブが実行されてはならないブラックアウト期間を定義する一連のパラメータ。

Manage Resources (ディスカバリおよび依存関係マップ)

ディスカバリを実行するために必要なリソースを設定できるアプリケーション。

mapping engine (マッピング・エンジン)

仮想関係を持つ異なるデータ・ストアから CI 間のリンクを識別するコンポーネント。識別は HP Universal CMDB CI と外部 CI を調整することによって実行されます。

modeling (モデリング)

サーバ、ネットワーク、ストレージ、ソフトウェア、および論理要素（ビジネス・サービス、VPN、およびエンド・ユーザなど）の間の複雑な関係をマッピングするプロセス。

multinode (マルチノード)

調整のためにアダプタ内で定義されている擬似エンティティ。たとえば、調整が host CI によって行われる場合、host マルチノードが定義され、調整に使用されるすべてのフィールドはデータベース内のカラムにマップされます。

OID (ディスカバリおよび依存関係マップ)

SNMP 識別の目的でネットワーク内のデバイスに割り当てられている、ベンダの正式な識別番号。

通常、整数の文字列で、システム内の特定のオブジェクトを一意に識別する識別子です。

package (パッケージ)

特定の定義済みの条件によって定義されたリソースのサブセット。特定の IT インフラストラクチャ・アセットのディスカバリなどのアクションや、あるシステムから別のシステムへのリソースの移動を実現します。

Package Manager (パッケージ・マネージャ)

いくつかまたはすべてのパッケージのリソースをローカル・ディレクトリから CMDB にデプロイしたり、パッケージ・マネージャ内のいくつかまたはすべてのパッケージのリソースをローカル・ディレクトリにエクスポートしたりできます。

pattern (パターン)

システム内の特定のコンポーネントを検出するためにディスカバリおよび依存関係マップによって使用される XML ファイル。パターンはジョブのリソースの 1 つであり、ディスカバリに必要なパラメータ、スクリプト、およびその他のコードを含みます。また、各特定のパターンで作成された潜在的な入力 CI と関係を記述する入力 TQL も含みます。

pattern view (パターン・ビュー)

パターン・ビューを使用して、トポロジ・クエリ言語 (TQL) クエリ (Topology Query Language (TQL) (トポロジ・クエリ言語) を参照) を定義することによって、CMDB に対するクエリが可能になります。

perspective (パースペクティブ)

Modeling Studio を使用するビューに基づくパースペクティブを作成するために、モデルまたは CI のコレクションに適用されるパターン。

protocol (プロトコル) (ディスカバリおよび依存関係マップ)

UCMDB サーバとシステム内のアプリケーションまたはサーバとの間の接続を制御するルール・ファイル。たとえば、NNM プロトコルによって、UCMDB サーバは NNMi アプリケーション・サーバに接続できます。プロトコルには、UCMDB サーバによるシステム・コンポーネントへのログインとアクセス、およびシステム・コンポーネント・データの取得を可能にする資格情報 (ユーザ名、パスワードなど) が含まれます。

reconciliation (調整)

一般的な命名スキーマを解決する、あるいはレコード内のデータの重複する差異を 1 つの回答に解決することによって、2 つ以上のソースからのデータを解決するプロセス。

resources (リソース)

HP Universal CMDB によって検出、管理される、アプリケーション、データベース、ネットワーク・デバイス (ハードウェアおよびソフトウェア)、およびサーバ。

Run Discovery (ディスカバリ実行)

特定の技術またはアプリケーションのディスカバリを可能にします。たとえば、[ディスカバリ実行] では、IP、サーバ、スイッチ、ルータなどのネットワーク・コンポーネントを検出できます。[ディスカバリ実行] は、範囲、プロトコル、およびプロトコルの接続データを定義し、ジョブをアクティブにすることによって、DDM プロセスを管理します。

Set up Probes (Probes のセットアップ) (ディスカバリおよび依存関係マップ)

プローブと資格情報を設定できるアプリケーション。

Show Status Snapshot (ステータス・スナップショット表示) (ディスカバリおよび依存関係マップ)

プローブで実行されているすべてのアクティブなジョブに関する現在の情報を表示できます。

signature (署名)

CI のプロパティの状態。CI 内のプロパティ値が変更されると、CI 署名も変更されます。CI 署名により、CI がすべての CI プロパティを取得して比較する必要なく、変更されたかどうかを調べることができます。CI と CI 署名は、適切なアダプタによって提供されます。アダプタは、CI プロパティが変更されると CI 署名を変更する役割を担います。

subgraph (サブグラフ)

特定の CI に関連した追加の TQL クエリ・データを表すグラフ。

system report (システム・レポート)

特定のレポート TQL クエリに基づくレポート。レポートにはクエリ結果に関する統計が表示され、非常に詳細かつ焦点を絞った情報を表示するように定義できます。

Topology Query Language (TQL) (トポロジ・クエリ言語)

IT インフラストラクチャ・データを検出、編成、管理する言語およびツール。TQL を使って、構成管理データベース (CMDB) から特定のデータを取得して表示するクエリを作成します。これは、CI 間の概念上の関係を取得し、IT インフラストラクチャ・リソースの視覚的イメージを作成できる言語です。

trigger CIs (トリガ CI)

インストールを進めることで、ディスカバリおよび依存関係マップ Probe が置かれているネットワーク、プローブが存在するホスト、およびホストの IP アドレスが自動的に検出され、これらの各オブジェクトに CI が作成されます。これらの検出された CI は CMDB に格納されます。それらはジョブをアクティブにするトリガとして機能します。ジョブは、アクティブ化されるたびに CI を検出します。そして次に、ほかのジョブのトリガとして使用されます。このプロセスは、IT インフラストラクチャ全体が検出されてマップされるまで続きます。

trigger nodes (トリガ・ノード)

ノードは関連マネージャでトリガ・ノードとして定義できます。関連マネージャを使用して、インフラストラクチャの変更のシステムへの影響をシミュレートできます。トリガ・ノードとして定義されたノードは、根本原因ノードまたはシステムに行う変更を表すノードです。

trigger TQLs (トリガ TQL)

あるジョブのトリガ CI にすべき特定の CI を定義します。

triplet

サブグラフの定義、複合関係、または計算された関係の作成時に、ソース CI からターゲット CI につながる、トポロジ・グラフのパスに許可されているステップ。

view (ビュー)

アイコンで表示される CI と関係の集合。これらの CI と関係は、CMDB の TQL クエリの結果であり、これらに割り当てられた表示ルールおよび構成ルールに従ってビューとして表示されます。各 CI/ 関係は、複数のビューに表示したり、異なるビュー・レイヤで複数のアイコンによって表示したりできます。

View Explorer (ビュー・エクスプローラ)

さまざまなアプリケーションで、CI ビュー内での表示、管理、および検索に使用されるツール。

virtual relationship (仮想関係)

異なるデータ・ストアの 2 つのグラフ・ノード間の関係。これらの関係のインスタンスは、どのデータ・ストアにも存在せず、FTQL 計算によって作成されます。

